



『日本近現代医学人名事典 〔1868-2011〕』

評者・湯本 敦子 獨協医科大学看護学部

まず、14年という歳月をかけ、お1人で研究を積み重ねて本書を完成された泉孝英氏に賞賛と感謝を申し上げたい。現在の医学・医療は先人たちの歴史の結実として存在する。この書が刊行されたことで、先人の歩みを知り、今の私たちの仕事を再確認する糸口ができるであろう。

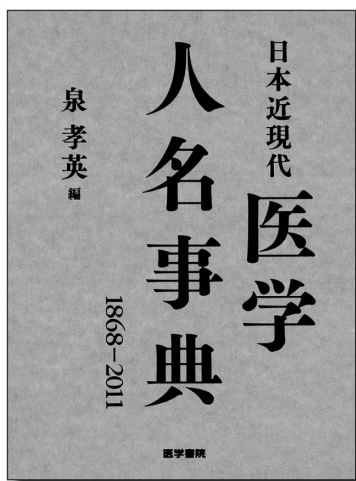
本書には、明治元年から現在にいたる145年間の物故者で、医学・医療に携わった3762名について、各人の生年～没年、出身地、【専門領域】、学歴、職歴、主な業績、著書・関連書籍などが記載されている。記載内容からは、編者が入手し得た資料から丹念に纏められたことが

うかがわれる。序文には明治以来今日までの医学・医療の変遷について概略がまとめられ、また付録として資料・年表・書名索引が記載されていることは、歴史背景の理解の助けになる。ただし収載された人物の専門領域ごとの索引がないのが残念であった。

【看護師(助産師)】として掲載されているのは、今西ヨシ、上坂きさ、桶谷そとみ、納村千代、楠本ミサノ、田中志ん、寺島信恵、原田静江、三森孔子、三宅コタミ、【看護師(従軍看護婦、助産師)】として沼本津根などである。

桶谷そとみは「桶谷式乳房管理法」を普及させ、三森孔子は、「お産の学校」を開講しラマーズ法をわが国に普及させた。助産師はもとよ

過去から現在まで つながる 豊かな医学・医療の歴史



泉 孝英 編

定価 12,600 円(本体 12,000 円+税 5%)

A 5/医学書院/2012 年

り母親たちの間にもその名が浸透している人物である。田中志んは、保健文化賞を受賞しており、伝記も出版されている。寺島信恵は「神戸友愛養老院」創設者であり、助産師というよりむしろ社会福祉事業家として名が知られているかもしれない。三宅コタミは緒方助産婦教育所を卒業し、祖母から孫まで5代続く助産師である。原田静江は日本看護協会名誉会員助産師第1号となった人物である。今西ヨシは奈良県第1号の助産師で、今西産婆看護婦養成所を設立している。上坂きさ、納村千代は福井県、楠本ミサノは広島県の助産師であり、それぞれの地域において活躍した

人々である。

本書ではすでに歴史の中で脚光を浴び広く認知されているであろう人物のみならず、編者自身が看護史等の資料から拾い上げた人々の足跡が記されている。編者は、本書が個人的作業による編集であり、収載されるべきでありながら収載されていない人物もいることの断わりを述べているが、例えば、医学を学んだ後産婆になり助産施設を開設、産婆学校を設立した村松志保子などもぜひ掲載してほしい人物の1人である。今後、さらに新たな情報や資料により加筆され、先人たちの豊かな歴史の証となることを期待する。

【訂正とお詫び】『助産雑誌』2013年7月号にて、以下の誤りがありました。ここに訂正してお詫びいたします。(編集室)

- ① 連載「周産期の生命倫理をめぐる旅」(p.562 右段 16～17 行目)の記述
誤：分娩麻痺 正：分娩障害
- ② 「この本、いかがですか？」(p.580 左段 27 行目，右段 14，15 行目)の記述
誤：今石ヨシ 正：今西ヨシ